

# 要 望 書

大湊地区総監（仮称）の海将としての継続配置、大湊地区隊（仮称）への護衛艦（FFM）2隻の追加配備及び当市にゆかりのある名称のイージス・システム搭載艦1隻の新規配備並びに大湊地区隊（仮称）の定員規模の維持・体制強化について

青森県むつ市

青森県むつ市議会



## 大湊地区総監（仮称）の海将としての継続配置、大湊地区隊（仮称）への護衛艦（FFM）2隻の追加配備及び当市にゆかりのある名称のイージス・システム搭載艦1隻の新規配備並びに大湊地区隊（仮称）の定員規模の維持・体制強化について

むつ市と自衛隊のつながりは、明治35年の旧海軍大湊水雷団の開庁にさかのぼり、以来一世紀を超える歴史を共に歩んでまいりました。現在、むつ市には、海上自衛隊大湊地方隊及び第25航空隊、航空自衛隊北部航空方面隊第42警戒隊が配置されておりますが、各部隊におかれましては国防に身命を賭して精励されるとともに、自衛隊と私達は長い年月をかけて相互の理解と協調への努力を重ね、特に歴代の総監を始め大湊地方隊の隊員の皆様が様々な場面において市民と深く交流を重ねていただいたおかげをもちまして、共存共栄の理念のもと信頼関係が構築されているところであります。市民一人ひとりが自衛隊の存在と役割を十分理解し、誇りを持っている地域は、むつ市の他にはないものと自負しております。

今後も我々はこれまでと何ら変わらず、地域を挙げて自衛隊を支え、隊員の皆様に寄り添い、支援・協力を続ける所存でございます。

さて、令和6年5月17日、大湊地方隊を横須賀地方隊に統合する内容を含む防衛省設置法等の一部を改正する法律が公布され、歴史が大きく変わる局面を迎えたものと認識しております。

我が国を取り巻く安全保障環境が急速に厳しさと不確実性を増し、津軽海峡においても中国軍やロシア軍による海上戦力の活動が活発化している中、我が国の防衛政策における「北方の要衝」として機能してきた大湊地方隊の重要性は極めて高くなっているものと認識しております。その中、大湊地区隊（仮称）における防衛体制の更なる増強はあっても、縮小はあってはならないものと考えております。

防衛力整備計画では、就役から相当年数が経過し、拡張性等に限界がある艦艇等の早期除籍等を図り、省人化した護衛艦（FFM）等を早期に増勢するとしており、令和5年度から令和9年度までの5年間で12隻の多機能護衛艦を整備する計画となっております。

国家安全保障上の観点から、大湊地区隊（仮称）の定員規模の維持・体制強化は不可欠であり、そのためにも、護衛艦（FFM）2隻の追加配備が必要であります。

大湊地区隊（仮称）の規模の維持、また、北方の要衝としての機能を盤石とするため、令和9年度末に浚渫工事が完了する予定の大湊基地港内へイージス・システム搭載艦を新たに配備していただき、そのイージス・システム搭載艦の名称を「むつ」や「おおみなと」等といった当市にゆかりのある名称としていただければ、市民にとってこれ以上ない誇りであり、当市と自衛隊は、共存共栄の理念のもと、これまで以上に深い関係が構築されることとなります。

つきましては、青森県以北の戦略上重要な海域の防衛力強化のため、大湊地区総監（仮称）の海将としての継続配置、大湊地区隊（仮称）への護衛艦（FFM）2隻の追加配備及び当市にゆかりのある名称のイージス・システム搭載艦1隻の新規配備並びに大湊地区隊（仮称）の定員規模の維持・体制強化について要望いたします。

令和6年7月25日

むつ市長 山本知也

むつ市議会議長 富岡幸夫